

第九次福井市総合計画審議会 答申

■開催日時:令和8年1月22日(木)10:00~10:15

■開催場所:福井市役所 3階 市長応接室

■出席者:別紙のとおり

■会議内容

I 答申

司 会

お時間となりましたので、ただいまから、第九次福井市総合計画の答申を行います。第九次福井市総合計画 答申につきましては、昨年7月24日に福井市総合計画審議会へ諮問して以来、全体会及び専門部会におきまして会議を重ねご審議いただきました。本日は審議会を代表しまして、内木宏延会長、田村洋子副会長にご出席いただいております。それでは、内木会長から西行市長に答申をお願いいたします。

————— 会長から市長へ答申 —————

司 会

ありがとうございました。どうぞ、ご着席ください。

内木会長

答申にあたりまして、若干の付言をさせていただきたいと思います。

まず、7月24日に市長から第九次福井市総合計画の諮問を受け、専門部会を延べ12回開催し、審議を重ねてきました。36名の審議委員からは、それぞれの立場から、非常に鋭い洞察や鋭いご意見、何より熱い気持ちをもって、活発な審議をいただきました。

本日、審議会を代表して答申させていただく運びとなったことは、大変うれしく思っております。

新幹線開業効果の維持・広域化や、少子高齢化・人口減少社会への挑戦、防災・減災対策の強化などの様々な社会的課題に迅速かつ的確に対応していただきたいと思います。

また、今後、策定される実施計画、事業の推進にあたっては、市民からの意見や、審議会において各委員から出された意見を十分尊重していただきたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

西行市長

長期間にわたりご審議いただきありがとうございます。今日、答申を受けたわけですが、私は今までの総合計画とは、ちょっと一味違うと自信を持っています。多くの市民のご意見、特に若い人たちのご意見をいただくため、16歳から29歳までのワークショップを2回実施しました。或いは各種団体や市職員、また電子申請の方からも、市民の方々からご意見を広くいただいております。これらで約2,000人もの方に関わっていただきました。非常に貴重なご意見をいただくとともに、この計

画に携わるというきっかけができて、いろんなご意見をいただくなかで、何かしら総合計画、或いは福井市政に対する関心が高まるなどといったプロセスがすごく大事だと思っており、非常にありがたいと思っています。

これから素案をとりまとめ、3月にパブリック・コメントを行い、6月の議会にお示しさせていただきたいと思っています。

当然、今後の実施計画や具体策、KPIの策定に向けても、これからはしっかりと市民の声に耳を傾けていきますが、この想いの詰まった答申をしっかりと柱として据えてやっていき、市民の皆さんに応えていきたいと思っています。

内木会長

市民参加という言葉がありますが、あれだけの市民、しかも年齢層も学生から高齢の方まで一堂に会して議論した、しかも場所も市役所、英語で言うとシティーホールです。そこに集まって、実際に対面であのような議論ができたというのは、私自身、今までにこんなに市民参加しているな、という気持ちを感じたことがなく有意義な体験でした。

しかも、あの規模感の会議は本当に福井市という規模にちょうどいいと思っていて、あれ以上大きいと何となく身近に感じないし、これ以上小さかったら大層で、ちょうどいいと思いました。

最後の会議では皆さんが感想を述べられました。最初の諮問いただいたときの会議では、皆さん議論することへの素朴な期待だったのですが、最後は皆さん、もう自分たち一人一人が市民参加して、自分たちの意見がこもっているということに対する自信と誇りが満ち溢れていて、ぜひこうして欲しい、市政にちゃんと反映して欲しいという強い要望にだんだん感想が変わっていたのです。この過程の中で、委員の皆さんの意識も、やはり向上したというふうに感じました。私自身も、つくづくそう思いました。こんなに参加している、なんて味わったことがなく、だからちゃんとこれからも、選挙にも行き、税金もちゃんと納めるという、市民としての義務感が生じました。

田村副会長

以前よりも増して、若い人の意見など、たくさんの意見を挙げていただき、すごく皆さんと一緒にやっていきたいという意欲が感じられたことが、いまだかつてなかったかなと思っています。約2,000人の方が関わったということで、計画を見たときに自分の意見がこういう風に反映されたのだと分かるのが、本当に、自身にとって誇りになるのではないかと思います。

西行市長

非常にうれしく、ありがたい感想をおっしゃっていただきました。

こども未来条例もそうですが、やはりこういう計画は、結果も大事ですがそのプロセスも非常に大事だと思っています。

多くの意見を聞けば聞くほどまとめるのにくくなるのですが、でもまとまったときにはそれはすごい力がそこに込められているのだらうと思っています。ちょっと時間はかかっても、なるべく多くの方にご参加いただいたり、関わりを持っていただいたり、電子申請など約2,000人の方がこれに関わりを持っていただくと、その関わりを持っている人からまたその輪が広がっていく、そんな思いもしています。

たとえ計画のどこにも自分の言ったことが反映されなくても、そういった意見をもとにして、これができているのだという意味では、今まで以上に、私自身としては重く感じているところです。

これから、計画を具体化して実現していくのは、私どもの仕事なのでしっかりとやらせていただいて、この計画を実行したことによって、市民の信頼を1つひとつ得ていきたいと思っています。

内木会長

最近、大学として、私自身も社会と関わり合って、ともに福井を盛り上げていきたいといろんな活動をしています。

例えば産学官連携して福井の産業界を活性化しブランド力を高めていく、というような計画もあります。こういうことを実現するために、最近、内閣府でもかなり大きなプランが採択されて、それをもとにオール福井での産学官連携システムを作ろうとしています。

一方で、去年の4月に福井大学の学長に就任した後、福井の企業巡りをしています。もう50社以上を回っていますが、それぞれの会社の会長や社長とお話をする機会があります。そうすると、福井というのは非常に皆さん高い技術で、誇りを持ってものづくりをしてらっしゃるんです。プライドを持って、ただ、もう1つ思うことは、それが世の中に知られていない、もうちょっといい意味で宣伝して、自分たちが思っている以上に福井というのはもっと価値があるんだ、そういう気持ちになったらもっと福井が盛り上がるんじゃないかと思うんです。

福井というブランドは、そんなに卑下したものでなく、もっと全国に誇れるものだと思いますので、そういうことにもぜひ福井市として、市民を活性化するというか、鼓舞していただけるとありがたいと思います。

西行市長

ありがたいことで、まさにその通りだと思っています。地元大学の技術系分野と企業さんがつながり、距離が縮まるということは、やはり学生が福井に留まる、県外から来ている方もたくさんいらっしゃいますけれど、福井で就職しようという気持ちになる糸口にもなろうかと思っています。福井のいいところというのは、数字の世界ですが住みよさランキングが1位になり、そういったポテンシャルというものがしっかりあるぞと、そういうことを我々としてはやっぱり自覚していかなければいけないし、一歩先、それを外に表現していくことが必要だと思っています。「福いいネ!」は、まさにその思いが詰まっているのですが、これは表面の現象であっても、根底にはやっぱり福井に誇りをもって、いいところをどんどん表現していこうと思っています。そういったことを実践されているのは非常に嬉しいです。

これからもいろいろ、しっかり連携をとってやっていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

内木会長

数字の上でいくと、2024年の合計特殊出生率が福井県は2位です。全国的に率が下がらなかったのは福井だけで、あとはみんな減っているそうです。

合計特殊出生率はいろんな要因の集積で、要するに安心して、こどもを産もうという気になってもらっているわけですからこれは大きいんです。若者は、1度は青雲の志を持ってどこかに行って勉強して、でもやっぱり福井がいい、福井は住みやすい、仕事もちゃんとあるということになれば、Iターン、Uターンに繋がりますよね。

西行市長

最近思いますが、我々の仕事って、究極的には人口減少対策だと思っています。すべてというの大げさですが、そこに集約されている。今おっしゃるように、福井に戻ってくる、あと、交流人口をふやすという、究極の目的を探っていくと、人口減少対策だろうなと思っていますし、2024年の合計特殊出生率は福井県の場合、1.46とものすごく高いですよ。ただ絶対数が少ないので、やはり人口が増えたら、出生率も生きてきてまた人口が増えていく。

もう1つは今おっしゃるように、社会動態っていうのが弱いんです。企業に県外から来ていただくの

はまさに社会動態なので、ここをしっかりとしていかなければいけないと思っています。先ほど言ったような啓発もプロモーションも、福井の良いところを、ポテンシャルをどんどん外にアピールしていこうと考えており、やはり目的というのは人口減少対策に集約されるのかなと思っています。単に人口が増えるというより、楽しくないと増えませんし、安心でないと、元気でないとだめだと私は思っています。

また計画案を作らせていただき、パブリック・コメントにかけて、議会のご了解をいただくという手順でしっかりとやって参ります。これ終わりではございませんので、またご意見やご指摘いただければと思っています。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

司 会

話は尽きないところでございますが、予定の時間も近づいておりますので、内木会長、田村副会長には引き続き、総合計画、また実施計画の推進にもご助言をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでは以上をもちまして、第九次福井市総合計画の答申を終了させていただきます。

本日はありがとうございました。

(以 上)

第九次福井市総合計画 答申 出席者名簿

福井市総合計画審議会

役職	所属・団体名等	委員氏名
会長	福井大学 学長	内木 宏延
副会長	福井市連合婦人会 会長	田村 洋子

福井市 出席者名簿

役職名		氏名
市長		西行 茂
総務部長		高島 弘和
総務部次長		岡本 尚美
市長公室長		村本 幸恵
総合政策課	副課長(司会)	坂下 一博
	課長補佐	嶋田 法子
	主幹	寺前 佳昭
	副主幹	吉田 勇也